



おおどまり ともこ
大泊 知子 さん (黒子)

会話を楽しみながらみんなで食事をする、そんな日常が早く戻るよう願います。

「栄養バランスのとれた食事を、低額で提供しています。開設当初は、毎週月曜日の夜に開いていました」

「私たちが目指す子ども食堂」

「筑西こども食堂有りの実(藤ヶ谷)」の活動について、会長の谷貝順子さんにお話を伺いました。

孤食の子どもたちに 手作りの温かい夕食を 「筑西こども食堂 有りの実」の取り組み

共働き世帯やひとり親世帯が増え続けている現在、全国で約22万人の子どもが孤食の問題をかかえ、栄養の偏りや人間関係を築く能力も失われつつあります。そのような中、一人で食事をする子どもたちを集め、居場所づくりや、栄養バランスの良い料理や食育の場を提供する「子ども食堂」が全国で開設されています。平成28年8月に市内に開設された

が、その後、第2日曜日の昼にも開くようになりました。一部に、子ども食堂は貧困家庭の人が利用するものと思う人もいますが、私たちが目指す子ども食堂は、そこに集まる人たちが幸せを感じるところ、一人ではなくみんなの力を合わせるところです。一人暮らしの高齢者も利用されています。もっとたくさんの人たちに気軽に利用してほしいです」と谷貝さんは話します。

「コロナ禍での活動」



①和やかに食事をする利用者のみなさん
※平成29年2月撮影



②月に一回配付される弁当を取りに来る親子
※令和3年10月撮影



「ボランティアで活動してくれる人が高齢化していて、有りの実を継続していくためには、若い力が必要だと感じています。みなさんのお力をお借りして、関城地区以外にも子ども食堂を開設し、必要としている子

今後の課題

を避けるために一時休止したり、状況を見て感染予防をしながら食堂を再開したり、また弁当配付のみにしたりと、この1年はコロナに振り回されての活動になりました。現在は第1月曜日と第4月曜日の夜に、市内飲食店のやまき(山口信也店長)さんが無償提供してくれる弁当や、地域の人たちから寄付していただいた食料品などを先着25人に配付しています。今私たちにできることを日々考え、行動しています。有りの実は、食事をつくるボランティアを始め、活動に賛同してくれる人たちの善意に支えられて運営しています。月一回のランチには、高校生ボランティアが食堂を手伝いに来てくれて、世代を越えてみんなで和やかに食卓を囲んでいます。短い時間でも利用者の顔を見て、言葉を交わし、元氣であることを確認すると安心します。子どもたちの成長を見守るのも楽しみの一つです」と感謝の気持ちとやりがいについて話しました。

「筑西こども食堂 有りの実」

住所：筑西市藤ヶ谷1083-2
電話番号：090-4726-4295 (谷貝)



筑西こども食堂有りの実について話す谷貝会長



ホームページ



Facebook

取材を終えて

取材をとおして有りの実の活動を深く知り、私も賛助会員になりました。一会員として、支援を必要としている人たちが気軽に利用できるよう、一緒に考えていきたいと思っています。

どもたちに、手を差し伸べることができればと考えています」。谷貝さんは、真剣な眼差しで、今後の展開について話してくれました。